

# NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議 次第

日時 令和6年5月21日（火）14:00～

場所 福岡県庁10階 行政特別西（行政特1）会議室

## 1 開会

## 2 議題

(1) 県における取組状況報告 【資料1】

(2) 災害時の多様な主体の連携について

・県における災害時の多様な主体の連携推進に向けた取組 【資料2】

・企業における取組事例 【資料3】

トヨタ自動車九州株式会社 総務部 地域連携・広報室

地域連携推進グループ長 峰 寿幸 氏

(3) 意見交換

## 3 閉会

---

### 【配付資料】

資料1 令和5年度県事業の概要

資料2 災害時の多様な主体の連携促進に関する県の取組について

資料3 災害ボランティアセンターの支援について

### 【付属資料】

- ・NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議 出席者名簿
- ・NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議 座席表
- ・NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議設置要綱
- ・NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議の公開又は非公開に関する規程
- ・令和5年度ふくおか共助社会づくり表彰パンフレット
- ・令和5年度福岡県共助社会づくり基金ニュース

# 令和5年度県事業の概要

## 1 協働推進に対する理解の促進

### ◆ ホームページ、メールマガジン等による情報発信

- ・ 2024年1月にコラボステーション福岡ホームページのリニューアルを実施。
- ・ 多様な主体による協働に向けた情報のほか、県による支援情報、NPO 法人の手続・相談に関する情報を発信。

#### <リニューアルのポイント>

- サイト構成を刷新
  - ・ サイトトップに協働に関するコンテンツを集約
  - ・ NPO 法人関連のコンテンツの特設ページを設置
- 協働推進機能の強化
- Web アクセシビリティに対応

#### <協働推進コンテンツ紹介>

##### ① ふくおか協働ひろば

- ・ 多様な主体による協働のきっかけづくりを支援するマッチングコンテンツ
- ・ ユーザーが社会課題解決の取組に必要なものの募集・提供できるものの情報（人・物・資金等）を投稿することが可能  
（例）ボランティア募集、寄附、寄贈、イベント、プロジェクト告知 など

##### ② 協働事例レポート

- ・ NPO・ボランティア団体、企業、教育機関、行政など多様な主体による社会貢献活動の協働事例を紹介
- ・ 登録ユーザーが協働事例を投稿することが可能

- ・ 月2回のメールマガジン※配信などによる情報発信。  
※メールマガジン@コンテ（毎月15日配信）  
※ふくおか☆社会貢献応援メールマガジン（毎月末配信）



## ◆ ふくおか共助社会づくり表彰（知事表彰）

- ・ NPO、企業等多様な主体の社会貢献活動を促進するとともに、本県の共助社会づくりに資することを目的として、NPO、企業、行政等多様な主体が行う優れた協働の取組を表彰する。2023年度（令和5年度）は2件（5団体）を表彰。

### 取組名（内容）

#### 市民主体による持続性ある海洋環境保全・美化活動

北九州市若松区の海岸ごみの削減に向け、月に1度、地元住人や漁業組合、企業等から数十人のボランティアが、海岸清掃活動を行っている。

約22年間で、236回の清掃活動を実施。ボランティア延べ11,386人が活動に参加し、204,476kgの海岸ごみを回収した。

また、他の団体が実施するイベントにおけるパネル展示や清掃活動に定期的に参加し、参加者に対して海岸ごみに関する啓発を実施している。



#### 「KAMIKURU（カミクル）」プロジェクト

北九州市八幡東区において、地域の企業、学校、行政等から回収した古紙を乾式オフィス製紙機「PaperLab」で新たな紙としてリサイクルしたうえで、高校の卒業証書や百貨店の紙袋など様々な紙製品にアップサイクルし、地域に還元することで、紙の循環システムを構築している。

また、古紙の回収から、再生紙作り、アップサイクル品の製作、配達までを障がい福祉サービス事業所が担当しており、障がいのある方の就労機会創出にもつながっている。



### 令和5年度表彰式の様子



## ◆ NPO・ボランティア、企業、行政との協働実践会議

- ・ 2010年（平成22年）7月設置。NPO等と企業、行政などの各主体における協働に向けた自主的な行動を推進するための課題を共有。
- ・ 2022年（令和4年）3月にNPO・ボランティアと企業、行政との協働実践指針を改訂。

### ◆ 市町村における協働支援

- ・ NPO・ボランティアセンター（24市町が設置）及び市町村職員を対象としたNPO・ボランティア団体への効果的な支援施策や協働支援のための連絡会を実施（年3回）。
- ・ 市町センターのNPO・ボランティアを資する助言やサポートを行う相談員を派遣。（2023年度（令和5年度）は田川市、豊前市、那珂川市、筑前町に派遣）

## 2 交流機会の創造

### ◆ 多様な主体による協働促進セミナー

- ・ NPO、企業、行政、大学など多様な主体による協働を推進するため、共助社会のあり方やそれぞれに期待される役割、協働による課題解決について学び、参加主体の交流を図るセミナーを開催。
  - 日 時：令和5年11月17日（金）
  - 基調講演「広がる共助社会」  
鳥丸 聡 氏 シンクタンク・バードウイング 代表／長崎県立大学地域創造学部 教授
  - 協働事例発表  
永田 由利子 氏 特定非営利活動法人 循環生活研究所 副理事長  
上田 あい子 氏 NPO法人 ウィッグリング・ジャパン 代表理事
  - トークセッション  
（ファシリテーター）古賀 桃子 氏 特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 代表  
（登壇者）鳥丸 聡 氏、永田 由利子 氏、上田 あい子 氏
- ・ アンケート結果（抜粋）  
「共助について考える良い機会となった。近所、地域のつながりが少ない現代、課題も多いと感じた。」  
  
「理想を並べるばかりではなく、地に足がついた活動に感動しました。嘘がなく、課題も頷ける内容でした。」



◆ 地域貢献活動スタディツアー

- ・ 地域貢献活動や協働に関心のある企業、NPO、教育機関、行政の職員等を対象に、多様な主体による社会貢献活動の現場を体感するスタディツアーを実施。
- ・ 視察とあわせてグループワークを実施し、参加者それぞれの気づき、思いを共有するとともに視察先も交えた交流を行った。
- ・ 2回のツアーを実施し、企業、NPO、教育機関、行政等からのべ31名が参加。

<ツアーの概要>

①認定特定非営利活動法人チャイルドケアセンター（2024年1月11日）

エフコープ太宰府支所におけるフードパントリー活動（企業から寄贈された食品等を筑紫地区の子ども食堂団体等に配布）及び子育て支援施設を視察。視察先NPOのほか、フードバンク団体や企業、子ども食堂など取組に参画するそれぞれの団体から話を伺った。



②認定特定非営利活動法人山村塾（2024年2月14日）

八女市黒木町笠原地区をバスで巡り、棚田の保全活動の現場や、廃校となった木造校舎を活用した交流施設を視察。都市と農山村の交流による森林の保全活動や企業との連携による棚田の保全活動について話を伺った。また、現地で栽培されたお米や野菜等を使った昼食をいただいた。



<参加者の感想（抜粋）>

「たくさんの方が色々な強い想いで活動されている実際の姿を見て感激しました。ただ、それ以上に困っている方々も居るのだろうとも思いました。なにかできる事を具体的に考えていきます。」（企業）

「人との出会い、内容、自分自身にとって刺激となりました。また、今からやりたいと思っていることに、さらに視野を広げて考えることに繋がりました。早速、仲間と情報共有をして、取り組んでいきます。」（NPO・ボランティア団体）

◆ 経済団体との連携による協働の推進

- ・ 経済団体の内部委員会と連携し、NPOとの協働の意義や可能性について発信するセミナーを開催。2023年度（令和5年度）は「カーボンニュートラル」をテーマに設定し、NPOの環境保全活動を紹介するとともに、企業との協働に向けて提案することで、企業とNPOが連携した社会貢献活動の促進を図った。

◆ NPO と行政との協働の推進

- ・ 専門的ノウハウや経験を持つNPOと協働し、地域課題の解決に取り組む。

【県とNPOとの協働件数の推移】

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
件数	143	149	156	167	179	187	202	207	143	160	178

【協働事例】

- ・ 障がい福祉課と特定非営利活動法人セルフセンター福岡が協働し、県庁内のアウトソーシング可能な作業や文書デジタル化に係る作業について共同受注窓口を通じて障がい者施設へ発注し、障がいのある方の収入向上を推進。

◆ 企業等の包括提携協定に基づく取組推進

- ・ 県内における共助社会づくりの実現に向け、地域の一層の活性化及び県民サービスの向上に資する事項について、企業の強みを活かしながら幅広い分野で協働する旨の協定を締結し、その協定を具体化する形で県庁関係部局が具体的な取組を実施(2024年(令和6年)5月現在、31社の企業との包括提携協定済み)。

【令和5年度取組例】

- ・ 長谷工コーポレーションと障がい者アートレンタル事業を活用したモデルルームや事業所への絵画(20点)の展示
- ・ 第一生命と子どものICT体験講座「コマ撮り動画にチャレンジ!」の実施
- ・ ANAと夏休み子ども企画展2023「空のお仕事体験」の実施

### 3 自立と発展に向けたNPOの活動基盤強化

◆ NPO相談等対応業務

- ・ NPO法人と協働し、NPOやボランティア等の資金調達、事務手続等、運営に関する様々な相談に対応。
- ※ 従来の対面による相談の他、非接触型(電話・メール・オンライン)による相談を実施。

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
認定・特例NPO法人数	26	31	33	32	31

◆ NPO会計・税務相談会

NPO法人に企画・運営を委託し、NPO法人会計に詳しい税理士による、会計・税務に関する個別相談会を年間10回開催。

◆ NPO活動基盤強化事業

NPO法人の事務に対する意識や事務能力の向上を図ることを目的としたセミナーを開催するとともに、認定の取得を目指すなど事務体制整備の一段の向上を図る法人の個別支援を実施。

◆ **ふくおか地域貢献活動サポート事業**

企業からの寄附金の受け皿として「福岡県共助社会づくり基金」を設置。これを利用して、NPO、行政、地域コミュニティ、企業などの多様な主体が協働して地域課題の解決に取り組む事業の実施に要する経費を助成（50万円以内／1事業当たり）。

<2023年度（令和5年度）寄附受入額> 1,148万4,711円>

主な寄附者	寄附額	希望する使途の分野
イオングループ	5,496,508円	分野を特定しない幅広い取組み
九州朝日放送（株）	2,307,423円	災害復興支援及び防災活動
明治安田生命保険相互会社	1,126,500円	県民の健康増進に資する活動
大坪G S I（株）	1,000,000円	困難な状況にある子どもの支援に資する活動
（株）セブン-イレブン・ジャパン	1,000,000円	災害復興支援及び防災活動
トヨタL & F福岡（株）	554,280円	分野を特定しない幅広い取組み

<2023年度（令和5年度）助成対象、採択件数>

採択件数 20件（応募総数28件）

◆ **自由提案型 10件**

分野を問わず地域貢献活動すべて

◆ **テーマ型（災害支援枠） 4件**

・豪雨の被災地支援活動（九州朝日放送（株）からの寄附を活用）

◆ **テーマ型（困難な状況にある子どもの支援枠） 5件**

・困難な状況にある子どもたちへの支援活動（西日本電信電話（株）九州支店、大坪G S I（株）からの寄附を活用）

◆ **テーマ型（健康増進枠） 1件**

・県民の健康増進活動（明治安田生命保険相互会社からの寄附を活用）

サポート  
事業報告書



※ 採択事例は7頁参照



寄附金贈呈式



【テーマ型（子ども）】  
親子稲作農業体験（稲刈り）

自由提案型（10事業）

協議体名・構成団体	採択事業名・取組概要	主な活動エリア等
<p><b>むなかた人の和プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宗像フェス CSR 推進実行委員会</li> <li>宗像市市民協働環境部</li> <li>帝人フロンティア株式会社</li> <li>JR九州高速船株式会社</li> <li>MVC</li> </ul>	<p><b>EMIARE Project 青少年交流&amp;環境保全活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宗像・沖ノ島関連遺産群を日韓共同で清掃</li> <li>リサイクルTシャツの制作販売</li> <li>環境保全に関する子ども向け絵本の製作</li> </ul>	宗像市
<p><b>自立型高齢者住宅推進協議体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人高齢者健康コミュニティ</li> <li>社会医療法人天神会</li> <li>医療福祉経営マーケティング研究会</li> </ul>	<p><b>自立型高齢者住宅の市場調査・ニーズ調査および啓蒙活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命の延伸に資する自立型高齢者住宅のニーズ調査</li> <li>高齢者やケアマネジャーを対象とした自立支援や自立型高齢者住宅のあり方を協議するワークショップの開催</li> </ul>	久留米市
<p><b>こども食堂立ち上げ・再開支援実行委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人チャイルドケアセンター（認定）</li> <li>エフコープ生活協同組合</li> </ul>	<p><b>ふくおか筑紫こども食堂ネットワークに所属する、筑紫地区5市のこども食堂開催および再開支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども食堂における食材管理や食中毒予防の注意点、立ち上げノウハウに関するマニュアルの作成、配布</li> </ul>	大野城市 春日市 筑紫野市 太宰府市 那珂川市
<p><b>ひまわりさんさん広場実行委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人緩和ケア支援センターコミュニティ（認定）</li> <li>NPO 法人いるか</li> </ul>	<p><b>ひまわりさんさん広場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の憩いと交流の場として、ランチ提供、バザー、健康イベント、コンサート等を行う「ひまわりさんさん広場」の開催</li> </ul>	福岡市
<p><b>田主丸地域活性化推進協議会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ASURA（アシュラ）</li> <li>株式会社 産</li> <li>株式会社 SAISEI</li> <li>久留米市 田主丸総合支所産業振興課</li> </ul>	<p><b>久留米・田主丸地域の賑わいづくり事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モリンガ等の地域資源を活用した食品開発</li> <li>地域資源のブランディングにむけた情報発信</li> <li>親子向けの地域づくりイベントの実施</li> </ul>	久留米市
<p><b>はやめカッパ祭り実行委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駛馬校区まちづくり協議会</li> <li>駛馬校区公民館連絡協議会</li> <li>駛馬校区社会福祉協議会</li> <li>駛馬校区民生委員・児童委員協議会</li> <li>はやめ人情ネットワーク</li> </ul>	<p><b>スカイランタンに願いを込めて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スカイランタンを使った地域の世代間交流イベントを実施</li> </ul>	大牟田市

<b>ヒーリング</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人ドッグセラピージャパン</li> <li>・上木月宮農組合</li> <li>・上木月ボランティアの会</li> <li>・PADEAR 合同会社</li> </ul>	<b>知ってもらおう、創りだそう、直鞍のたまがる 第2弾</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直鞍地区の観光資源、地域資源を掲載したマップの作成、魅力発信</li> </ul>	直鞍地区
<b>福祉現場での女性支援を考える会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人アコア</li> <li>・特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所</li> <li>・社会保険労務士福田事務所</li> </ul>	<b>福祉現場職員向け「ジェンダー平等と女性支援に関する勉強会」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉現場職員を対象にジェンダー平等や DV 被害を受けた女性利用者への支援に関する研修会の実施</li> </ul>	福岡市
<b>グレースエンジェル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人 music Gate</li> <li>・学校法人福岡女学院中学校・高等学校</li> <li>・株式会社グリーンケア</li> <li>・一般社団法人 SARAE</li> <li>・駄菓子ごきげんや</li> </ul>	<b>高齢者と子どもの交流体験イベント&amp;コンサート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と子どもが一緒に参加できる体験活動イベントや会場参加型のコンサートの実施</li> </ul>	福岡市
<b>那珂川市やまもも育成事業協議会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまももの森プロジェクト</li> <li>・株式会社南畑ぼうぶら会議</li> <li>・株式会社ホーホウ</li> <li>・福岡女子商業高等学校</li> <li>・那珂川市</li> <li>・那珂川市商工会</li> <li>・株式会社ブリッジ</li> <li>・株式会社愛しとと</li> <li>・日下部中小企業診断士事務所</li> </ul>	<b>地域資源のやまももを育て、伝え、商品の魅力を高める協働事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地でのやまももの植樹・育成</li> <li>・収穫したやまももを使った商品開発・販売</li> <li>・福岡女子商業高校の生徒たちが、やまももの育成・収穫から商品の試作開発、マルシェでの販売体験に関わりビジネス感覚を身に付けられるプログラムの実施</li> </ul>	那珂川市

#### テーマ型〈災害支援枠〉（4事業）

協議体名・構成団体	採択事業名・取組概要	主な活動エリア等
<b>防災の学校プロジェクト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人アクションタウンラボ</li> <li>・博多あん・あんリーダー会東支部</li> </ul>	<b>防災の学校 2023</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けの防災ワークショップの開催</li> </ul>	福津市
<b>防災マニュアル検証委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人ハッピーライド</li> <li>・社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会 生活介護事業所 ぴあすまいる西センター</li> </ul>	<b>防災マニュアルの検証と地域との関係作り事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぴあすまいる西センターをモデルケースに防災マニュアルの検証を実施</li> <li>・防災訓練の実施</li> </ul>	福岡市
<b>防災グ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人 Camp</li> <li>・杷木コミュニティ協議会</li> </ul>	<b>災害復旧から防災力を高める事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童を対象とした防災演習の実施</li> <li>・地域住民を対象とした防災講座や交流会の実施</li> </ul>	朝倉市

<b>DERAIT</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GID Link</li> <li>・東北大学 災害科学国際研究所 防災実践推進部門 国際研究推進オフィス</li> <li>・兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科</li> </ul>	<b>セクシュアルマイノリティの視点から考えるインクルーシブ防災</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所を運営する地域住民に対するセクシュアルマイノリティに関する啓蒙活動の実施</li> <li>・セクシュアルマイノリティ当事者や行政へのアンケート、インタビュー調査</li> </ul>	福岡市
---	---	-----

**テーマ型〈困難な状況にある子どもの支援枠〉（5事業）**

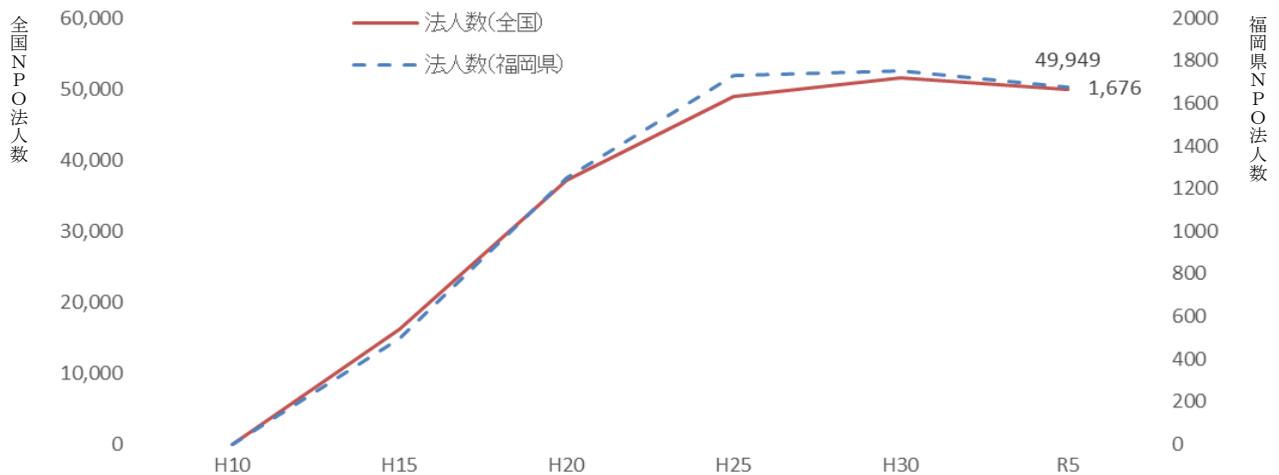
協議体名・構成団体	採択事業名・取組概要	主な活動エリア等
<b>100人カレー弥永推進協議会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人まなびや木の木</li> <li>・社会福祉法人 たちばな福祉会</li> </ul>	<b>こども食堂運営事業と子供たちに第4の居場所を確保する事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子ども達を対象としたこども食堂及び学習イベントの実施</li> </ul>	福岡市
<b>久留米わたばくオンライン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人わたしと僕の夢（認定）</li> <li>・久留米大学 上原紀美子研究室</li> </ul>	<b>不登校等の子ども達へのオンラインを中心とした学習支援事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校や引きこもりで学習の機会が減少した子ども達を対象としたオンライン学習支援の実施</li> </ul>	久留米市
<b>自立支援あさくら協議会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人 フリースペースよつば</li> <li>・杷木地域コミュニティ連合会</li> <li>・朝倉市教育委員会</li> </ul>	<b>学校に行きづらい子、社会になじめない人への自立支援事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生を対象とした居場所づくりや学習支援・相談支援の実施</li> </ul>	朝倉市
<b>たねっこアグリ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人食育推進ネットワーク福岡</li> <li>・じぶん発見舎 grande</li> </ul>	<b>子どもたちを笑顔にしたい！農業体験を通じて心を癒す活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的支援を受けている子どもを主な対象に田んぼでの農作業体験イベントの実施</li> </ul>	筑紫野市 福岡市
<b>えほん楽団 こども食堂コンサート推進協議体</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人えほん楽団</li> <li>・NPO 法人愛い空</li> <li>・北九州市 折尾西市民センター</li> <li>・北九州市 松ヶ江北市民センター</li> </ul>	<b>えほん楽団 こどもコンサート FOR こども食堂</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども食堂を訪れる子ども達とその保護者を対象としたコンサートの開催</li> </ul>	福岡市 北九州市

**テーマ型〈健康増進枠〉（1事業）**

協議体名・構成団体	採択事業名・取組概要	主な活動エリア等
<b>特別支援学校等を活用した地域における支援協議会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人しいだコミュニティ倶楽部</li> <li>・築上町教育委員会</li> </ul>	<b>特別支援学校等を活用した地域における障害スポーツ拠点づくり事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校におけるスポーツ体験機会の提供</li> <li>・障がい者と健常者の交流によるスポーツ大会の実施</li> </ul>	築上町

# 県内NPO法人数、財政状況及び協働件数等の推移

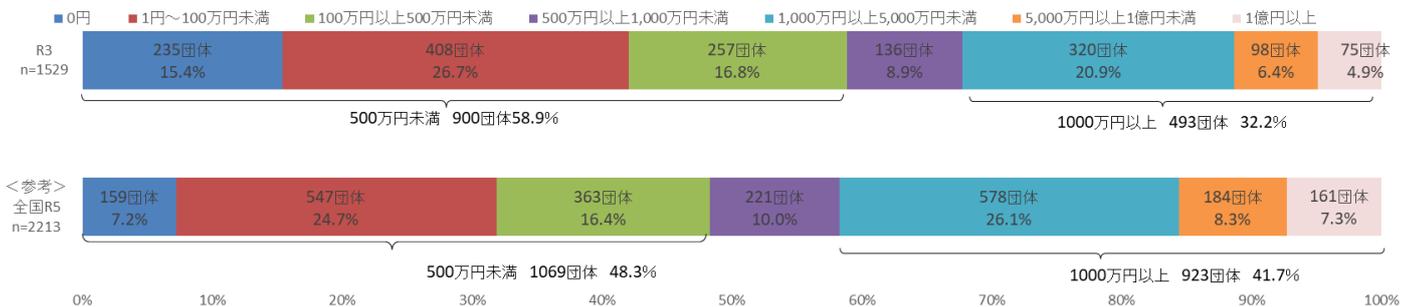
## ■法人数の推移（全国・福岡県）



○H30年12月に、特定非営利活動促進法の施行（H10年12月）から20年が経過。  
 ○福岡県ではH28をピークに法人数が減少傾向にあり、全国でもH30から減少している。

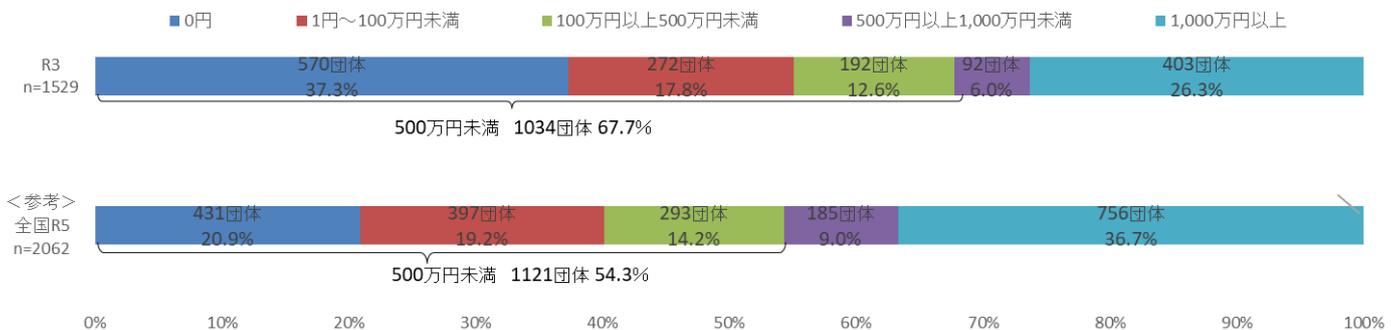
## ■財政状況

### (1) 特定非営利活動に係る収入の分布



○収入規模500万円未満の法人が約60%であり、全国（収入規模500万円未満：約50% R5年度国調査）に比べて、小規模な法人の割合が高い。

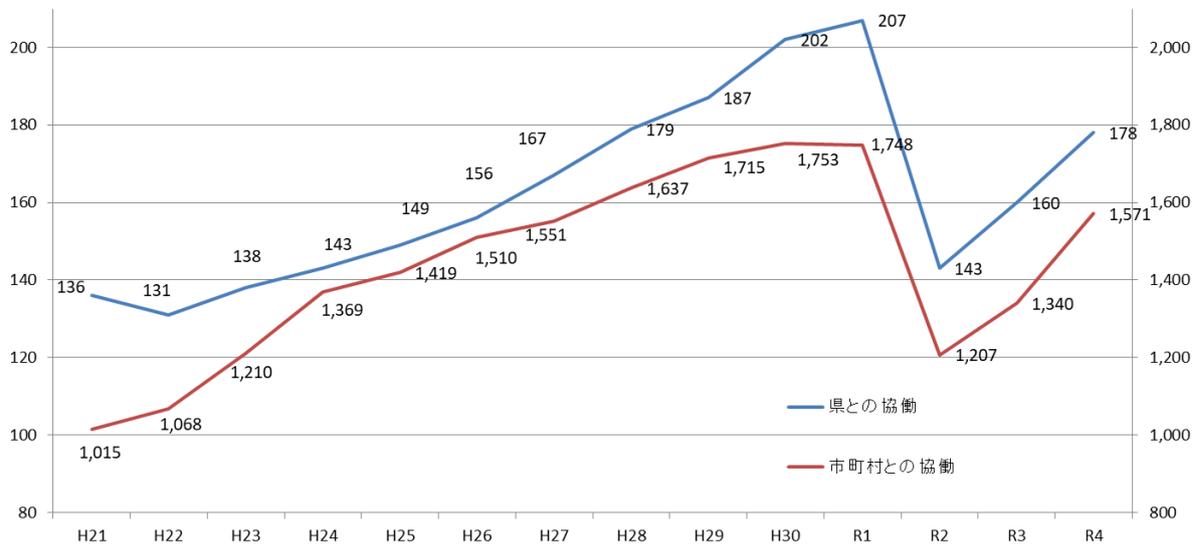
### (2) 事業収益の分布変化



○事業収益500万円未満の法人が約68%であり、全国（事業収益500万円未満：約54% R5年度国調査）に比べて、小規模な法人の割合が高い。

## ■ 協働件数等の推移

### (1) 協働件数の推移



- 県とNPOの協働件数  
H21年度 136件 → R4年度 178件
- 市町村とNPOの協働件数  
H21年度 1,015件 → R4年度 1,571件
- R2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で件数が減少したものの、回復傾向にある。

## 災害時の多様な主体の連携促進に関する県の取組について

### 1 県のこれまでの取組

令和3年3月、県・県社協・F ネット（災害ふくおか広域ネットワーク）の三者による災害ボランティア活動支援に関する協定を締結

平時には、三者の連携を促進するための会議を開催

災害時には、ボランティア活動の重複や漏れの調整を目的とした情報共有会議を開催

※F ネット：多様な主体間の連携を通じ、平時の備えと災害時における被災者・被災地の支援をコーディネートすることを目的として設立された団体

※情報共有会議：三者のほか、市町村、市町村社協、県内外のNPO・企業等の被災者支援に関わる主体が、それぞれの把握している情報や活動内容を共有し、課題解決のための対応を話し合う会議

・令和3年8月大雨 14回 延べ586人参加

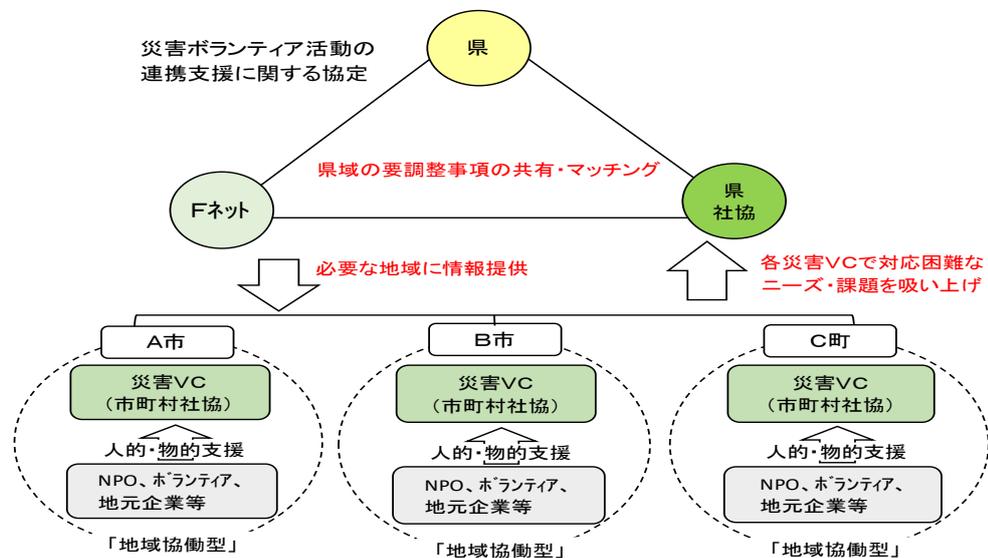
・令和5年梅雨前線豪雨 8回 延べ573人参加

### 2 令和5年7月豪雨災害時の課題

(1) 公的な支援制度だけでは多岐にわたる被災者ニーズに対応できない

(2) 市町村域で対応できない被災者ニーズを整理し、効率的に広域で把握し調整する仕組みがない。

【県が目指す多様な主体が連携した災害ボランティア支援体制】



### 3 令和6年度県事業について

(1) 多様な主体の連携による被災者支援の必要性を周知するセミナーの実施

日時 令和6年5月31日（金）10:30～16:30

場所 福岡県吉塚合同庁舎8階 803会議室

(2) 県社協が実施する地域協働型災害VC 運営研修・実地訓練等への助成

(3) 広域災害を想定し、三者（県・県社協・F ネット）が連携した災害ボランティア活動の広域調整訓練（模擬情報共有会議）の実施

**NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議 出席者名簿**  
**【任期: 令和5年8月30日～令和7年8月29日】**

団体名・役職等		氏名	出欠等
有識者	公益財団法人 大野城まどかぴあ 館長	林田 スマ	欠席
	シンクタンク・バードウイング 代表 長崎県立大学地域創造学部 教授	○ 鳥丸 聡	出席
	北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授	松永 裕己	出席
	合作株式会社 取締役 慶應義塾大学SFC研究所 上席所員	西塔 大海	欠席
企業	九州旅客鉄道株式会社 常務執行役員 総務部長	山根 久資	代理出席 総務部 担当部長 宮野原 佳
	九州電力株式会社 地域共生本部 総務部長	辻 慎一	出席
	TOTO株式会社 総務本部長	砂川 浩	欠席
	パナソニック コネクト株式会社 人事総務本部 モノづくりイノベーション人事部 人事二課 主幹	長洲 正明	出席
	株式会社サンキュードラッグ 代表取締役社長 兼 CEO	平野 健二	欠席
経済団体	一般社団法人 九州経済連合会 常務理事	田中 徹	出席
	福岡経済同友会 恒久幹事 九州旅客鉄道株式会社 特別顧問	◎ 石原 進	出席
	一般社団法人 福岡県中小企業家同友会 ソーシャルビジネス委員会 委員長	桑原 由美子	出席
	福岡県商工会議所連合会 専務理事	松本 恭子	欠席
NPO等	特定非営利活動法人 日本ファンリテーション協会 フェロー	加留部 貴行	欠席
	特定非営利活動法人 循環生活研究所 副理事長	永田 由利子	出席
	特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表	古賀 桃子	出席
	社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部長	勝野 耕太郎	出席
行政	福岡県人づくり・県民生活部 部長	浦田 智子	出席

◎…委員長、○…副委員長

# 「NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議」座席表

令和6年5月21日(火)14時00分～

福岡県庁10階 行政特別西(行政特1)会議室

	福岡経済同友会 恒久幹事  いしはら すすむ <b>石原 進</b>	シンクタンク・バードウイング 代表 / 長崎県立大学 地域創造学部教授 とりまる さとし <b>鳥丸 聡</b>
	委員長席	副委員長席
北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 教授 まつなが ひろみ <b>松永 裕己</b>		一般社団法人 福岡県中小企業家同友会 ソーシャルビジネス委員長 くわはら ゆみこ <b>桑原 由美子</b>
九州旅客鉄道株式会社 総務部 担当部長 みやの はら けい <b>宮野原 佳</b>		特定非営利活動法人 循環生活研究所 副理事長 ながた ゆりこ <b>永田 由利子</b>
九州電力株式会社 地域共生本部 総務部長 つじ しんいち <b>辻 慎一</b>		特定非営利活動法人 ふくおか NPO センター 代表 こが ももこ <b>古賀 桃子</b>
パナソニックコネクト株式会社 モノづくりイノベーション人事部 人事二課 主幹 ながす まさあき <b>長洲 正明</b>		社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部長 かつの こうたろう <b>勝野 耕太郎</b>
一般社団法人 九州経済連合会 常務理事 たなか とおる <b>田中 徹</b>		福岡県人づくり・県民生活部 部長 うらた ともこ <b>浦田 智子</b>
		トヨタ自動車九州株式会社 総務部 地域連携・広報室 地域連携推進グループ長 みね としゆき <b>峰 寿幸</b>

事務局

## NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議設置要綱

### (設置)

第1条 協働に向けたNPO・ボランティア、企業、行政などの各主体の具体的な取り組みを進め、各主体が協働して共助社会づくりを推進するための仕組み等について提案し、協働を実践する上での課題解決策や先進的事例を広く発信していくことを目的として、「NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議」（以下「実践会議」という。）を設置する。

### (審議事項)

第2条 実践会議は、協働に向けた具体的な取組を促進するため、次の事項について審議を行う。

- 1 協働を実践するうえでの課題とその解決方法
- 2 協働への理解促進と具体化
- 3 ふくおか協働ひろばへの参加促進
- 4 その他協働に向けた具体的な取組を促進するために必要な事項

### (組織)

第3条 実践会議は、委員20名以内で構成する。

- 2 実践会議に委員長及び副委員長を置く。
- 3 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 4 委員長は、実践会議を代表し、会務を総括する。
- 5 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため就任した委員の任期は、前任者の任期の残存期間とする。
- 3 委員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

### (会議)

第5条 実践会議は、委員長が必要と認めるときに開催する。

- 2 実践会議は、必要があるときは委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

### (庶務)

第6条 実践会議の庶務は、人づくり・県民生活部社会活動推進課において処理する。

### (補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、実践会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成22年7月20日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

## NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議の公開又は非公開に関する規程

### 1 趣旨

この規程は、NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議（以下「実践会議」という。）の会議の公開又は非公開を決定するにあたり、その判断基準及び公開方法について定めるものである。

### 2 公開又は非公開の決定等

- (1) 実践会議は、その検討状況を県民に明らかにすることにより、実践会議運営の透明性の向上を図り、もって実践会議に対する県民の理解と信頼を深めるという観点に立ち、その会議の公開に努めるものとする。
- (2) 実践会議の会議が次のいずれかに該当する場合には、委員長は実践会議に諮って、当該会議を非公開とすることができる。
  - ア 当該会議を公開することにより特定の個人情報明らかにする場合
  - イ 当該会議を公開することにより、法人その他の団体の競争上の地位その他正当な利益を害すると認められる場合
  - ウ 当該会議を公開することにより、検討に支障を生ずるおそれがある場合
  - エ その他会議を公開することにより、実践会議の公正かつ円滑な運営に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

### 3 公開の方法等

- (1) 実践会議の会議の公開は、会場の規模に応じてあらかじめ傍聴定員を定め、会場に一定の傍聴席を設けて、希望する者に傍聴を認めることにより行うものとする。
- (2) 委員長は、傍聴を希望する者が、会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれがあるときは、傍聴を認めないことができる。

### 4 会議録等

- (1) 実践会議は、公開した会議の会議資料及び会議録を公開するものとする。
- (2) 実践会議は、会議を非公開とする場合においても、支障のない会議資料及び会議の議事の概要を公開するものとする。
- (3) 会議録、会議資料及び議事概要の公開は、ホームページへの掲載等の方法により行う。
- (4) 前項の規定により公開する会議録及び議事概要においては、発言者の氏名は明らかにしないものとする。

### 附 則

この規程は平成22年7月20日から施行する。